



いわき市立遠野中学校 学校だより

遠野通信 ③



発行責任者：校長 佐川 綾子 令和6年(2024年) 6月13日(木) 発行

遠野中 市中体連大会終了～戦いの後に…～

5月29日の市中体連陸上競技大会を皮切りに、市中体連各種競技大会が開催され、本校からは、5・6日に野球部、6日にバドミントン部、7・8日にバレーボール部、9・10日に卓球部が出場しました。各部とも、手強い相手にも最後まで諦めず、互いに声を出し励まし合って試合に臨んでいる姿が印象的でした。力の限りを尽くして戦った選手の皆さんの頑張りに心から拍手を送ります。

スポーツの世界では勝敗がつきものです。当然、勝って次の試合、上の大会に進むことを目標に臨む訳ですが、それは相手も同じ。経験年数やチームの総合力で勝る相手に勝つことは並大抵のことではありません。また、勝負は運に左右される場合もあります。多くの3年生にとって最後の公式戦となる中体連には独特の緊張感が漂っており、その雰囲気圧倒され、思うような成績が残せずに大会を終えた選手もいたかもしれません。しかし、勝敗という結果よりも大切なことがあります。

「負けて悔いなし」という言葉がありますが、懸命に努力を重ねてきた人であればあるほど負けて悔しくないはずはなく、「あの時、もっとこうしていれば…」という悔いも残るはずですが、そしてこの後悔にこそ意味があります。努力の結果、「できるようになった」ことを自信に変え、後悔・課題は次の取組に活かしていくことができるかどうか。これが何よりも大切で、このサイクルこそ、中学校の部活動を通して学んでほしいことの1つです。報われなかったとしても、無駄な努力はありません。部活動で培ったリーダーシップや忍耐力、チャレンジ精神等を大切に、新しい目標に向け、自信を持ってこれからの中学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆様にはそれぞれの会場で熱い声援をいただきありがとうございました。また、これまで子どもたちを様々な面から支えていただいたこと、重ねて感謝申し上げます。引き続きご声援ご支援をよろしく願います。

市中体連大会を終えて ～各部部長より～

中体連を終えて、僕は、チーム力が上がっていると思った。最初の頃は、部員同士コミュニケーションを取る機会がなくチームとは言えなかったが、遠野中になり話す機会が増えたこともあり、チーム力が上がった。その結果初戦を勝つことができた。2回戦では負けてしまったが、この経験を今後生かしていきたい。そして先輩たちには遠野中を背負って頑張り、自分たちが達成できなかった2勝目を達成してほしい。

【野球部：折笠源】



今年度は6名の新入部員が入り団体戦にも出られるようになりました。団体戦では、全員で一丸となって戦いましたが、惜しくも負けてしまいました。個人戦では最後の一球まであきらめず試合をすることができました。改めて振り返ると、新入部員が入ってくれたおかげで最後の中体連が参考試合にならず、本気で試合ができて、良かったです。これから1・2年生には自分の目標達成に向けて頑張してほしいと思います。卓球部のみなさん、一緒に卓球をすることができて楽しかったです。ありがとうございました。

【女子卓球部：佐藤杏】

ここまで部長として卓球部を引っ張ってきましたが、部長を務める中で、大変だと感じることも多く、仲間に支えられて最後までやり遂げることができました。一緒にここまで付いてきてくれた仲間たちには、本当に感謝しています。自分は引退となりますが、先輩たちには今後の卓球部をさらに盛り上げてほしいと思います。

【男子卓球部：鈴木叶琉】



感謝を胸に 次のステップへ



中体連を終えた今、私は充実感に満たされ、最高のメンバーと過ごした3年間幸せを感じています。この3年間は大きな心の成長につながりました。コミュニケーションをとる大切さや部長としての責任の重さを身をもって知ることができました。部活動を通して学んだことをこれからの生活に最大限生かしていきたいです。どんな時も支えてくれたメンバー、先生、家族には感謝の思いでいっぱいです。これからは2年生が中心となり、少ない人数での活動になりますが、少ない人数だからこそ声をかけ合い、協力することを大切に、最後まで粘り強く、全力で部活を楽しんでください。
【バドミントン部：坂本 遥花】

中体連が終わって、これまで部活動のある生活が当たり前になっていたと感じます。今、部活動のない生活が寂しく感じられます。私はバレーボールが大好きで、大切な仲間と大好きなバレーボールができるのが毎日の楽しみでした。みんなとプレーできないのはとても寂しいですが、気持ちを切り替えて次のステップへと進みたいです。これまで関わってくださった先生方やすべての人たちに感謝を伝えたいです。そして、1・2年生は新チームで不安も多いと思いますが、もっと上手になれると思うので笑顔で助け合いながら頑張ってください。

【バレーボール部：緑川 夏帆】



高校説明会 ～市内各高等学校の先生方をお招きして～

5月31日（金）、将来の進路実現や進学先選択の参考とするため、2・3年生及び希望保護者を対象に高校説明会を開催しました。今年度は、各校の特色や生徒の進路希望等を考慮し選定した10校から、校長先生や教頭先生にお越しいただき、各高等学校の概要や特色、求める生徒像等についてお話しいただきました。

県立入試が3期制から前後期制に移行し6年目を迎えます。既に上の兄姉で高校受験を経験されているご家庭もあるかと思いますが、入試の仕組みは複雑で多岐に渡ります。個々の生徒の進路希望に即して、確実に進めていきたいと考えています。保護者の皆様におかれましても、制度の変更点や各校の概要・特色を改めてご確認いただければ幸いです。

※下表は県教委HP「令和6年度版 がんばれ受験生 県立高校入試早わかり」より

■ 福島県立高等学校入学者選抜の概要

		ねらい・特徴	出 願	選抜方法・資料	実施学校	募集人数
全 日 制 ・ 定 時 制	特色 選 抜	・各高校の特色に応じて受験生が主体的に高校を選択し出願できる選抜。 ・各高校は受験生の個性や学ぶ意欲を重視し特色ある選抜を実施。	・各高校は「志願してほしい生徒像」と選抜方法を明示。 ・自ら志願する動機・理由が明白かつ適切である者が出願できる。	・学力検査 ・志願理由書 ・調査書 ・特色面接 ・特色検査	・すべての学校、学科で実施。	募集定員の5%～50%の範囲で学校が設定。
	一般 選 抜	・中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜。	・特色選抜と一般選抜の両方に出願する場合、出願する学科は同一校の同じ学科又は異なる学科へ出願できる。	・学力検査 ・調査書 ・学校・学科により一般面接も実施	・すべての学校、学科で実施。	募集定員から特色選抜・連携型選抜の合格者数を除いた人数。
	後 期 選 抜	・受験生の学ぶ意欲や高校で学ぶ機会を保障することを重視した選抜。	・前期選抜及び連携型選抜受験の有無にかかわらず出願できる。	・調査書 ・面接 ・小論文（作文）	・前期選抜及び連携型選抜により定員を充足しない学校・学科で実施。	募集定員から前期選抜及び連携型選抜の合格者数を除いた人数。

【教育目標】

- 自ら学び考え、知性豊かな生徒
- 心豊かで思いやりがあり、品位ある生徒
- 心身共に健康で、たくましい生徒

〒972-0161

いわき市遠野町上遠野字根小屋 30

TEL 0246-89-2513 FAX 0246-89-2709

e-mail tono-jh@city.iwaki.lg.jp